

標準適用範囲

法面の区分 (勾配)	構造物 (1:0.3~)	硬岩~軟岩 II (1:0.3~1.2)			軟岩 I				土 砂			備 考
						(1:0.5~0.8)		(1:0.8~1.2)		(1:0.8~1.5)		
法面の状態		風化が無く新鮮で、亀裂が少なく、よく密着している岩盤。	緻密ではないが、相当の硬さを有し、風化の程度があまり進んでいない岩盤。	硬く固結し、風化が目に沿って相当進んでおり、軽い打撃で離し得る岩盤。	固結の程度が良好で、風化が相当進み、軽い打撃により割れる、離れ易い岩盤。	固結程度が弱く、風化が激しいもので、重機により掘削可能な岩盤。	固結の程度が良好で、風化が相当進み、軽い打撃により割れる、離れ易い岩盤。	固結程度が弱く、風化が激しいもので、重機により掘削可能な岩盤。	切 盛 土			
									礫質土	火山灰土 砂質土 粘性土		
亀裂間隔及び土壌硬度		亀裂間隔 1m内外	亀裂間隔 30~50cm	亀裂間隔 10~30cm	亀裂間隔 5~10cm	亀裂間隔 1~5cm	亀裂間隔 5~10cm	亀裂間隔 1~5cm	土 壌 硬 度			
									25~30mm	25mm未満		
バイオ・オーガニック・リバー工法	BR-50								○		○	土壌硬度25mm未満、8分より緩い勾配
〃	BR-70		○	○	○	○			○	○		土壌硬度25mm以上、5分より緩い勾配
〃	BR-100		○	○	○							土壌硬度30mm以上、3分より緩い勾配
スーパーバイオ・オーガニック・リバー工法	SBR-100	○										コンクリート構造物面の凹凸が3cm以上
〃	SBR-130	○										コンクリート構造物面の凹凸が3cm未満、モルタル吹付面
代 表 的 な 地 質、岩 質	モルタル・	花崗岩	石灰岩	熔結凝灰岩	第三紀の泥岩				砂レキ質表	一次シラス	砂質土	
	コンクリート及びコンクリート構造物等	閃緑岩 結晶片岩 けい岩 角岩 溶岩 蛇紋岩	多孔質安山岩 千枚岩 流紋岩	大谷石	シルト岩 凝灰岩 土丹 凝灰角 レキ岩 頁岩				土 段丘砂レキ 火山碎屑物 レキ岩風化 土 集塊岩風化 土	マサ土 山砂 硬質粘土 土丹	二次シラス 軽石質火山灰 関東ローム	

※備考欄に記述している土壌硬度25mmは、粘性土で23mm、砂質土で27mmを基準としている。
 ※乱流・水勢著しい箇所又は高水時にその恐れがある場合には、基礎工を別途検討すること。
 ※適用する諸条件により工法規格が複数選定される場合には、植物の生育に厳しい諸条件を優先する。
 例) 軟岩 I 亀裂間隔10cmで、法面勾配が1:0.5未満の場合には、“BR-100”を選定する。